資料２

厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

薬剤師国家試験の現況について

厚生労働省 医薬局総務課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

薬剤師法

（試験の目的）

第十一条　試験は、薬剤師として必要な知識及び技能について行なう。

（試験の実施）

第十二条　試験は、毎年少なくとも一回、厚生労働大臣が行なう。

2　厚生労働大臣は、試験の科目又は実施若しくは合格者の決定の方法を定めようとするときは、あらかじめ、医道審議会の意見を聴かなければならない。

（省令への委任）

第十八条　この章に規定するもののほか、試験の科目、受験手続その他試験に関し必要な事項は、厚生労働省令で定める。

薬学教育カリキュラムと国家試験

年度	カリキュラム	国家試験
H23		6 年制試験開始（H24.3　97回）
H24		
H25	薬学教育モデル・コアカリキュラム（H25年度改訂版）の公表	
H26		
H27	薬学教育モデル・コアカリキュラム（H25年度改訂版）適用開始	合格基準見直し（H28.2　101回）
H28		新たな薬剤師国家試験出題基準公表
H29		
H30		
R元		
R2		薬学教育モデル・コアカリキュラム（H25年度改訂版）対応試験（R3.2　106回）
R3		
R4	薬学教育モデル・コア・カリキュラム（R4年度改訂版）公表	
R5		
R6	薬学教育モデル・コア・カリキュラム（R4年度改訂版）適用開始	
R7		
R8		
R9		
R10		
R11		薬学教育モデル・コア・カリキュラム（R4年度改訂版）対応試験国家試験
以降		

これまでの検討状況

平成18年４月～	・薬学６年制教育開始
平成19年６月～ 平成20年６月	・**薬剤師国家試験出題制度検討会** （医薬食品局長の私的検討会として設置）
平成21年６月、 12月	・**薬剤師国家試験制度改善検討部会**※ （医道審議会薬剤師分科会の下の部会として設置）
平成22年１月20日	・薬剤師法施行規則の一部を改正する省令公布 ・新薬剤師国家試験について（平成22年薬食発0120第12号）厚生労働省医薬食品局長通知発出
平成21年12月～ 平成22年９月	・**薬剤師国家試験出題基準改定部会**※ （医道審議会薬剤師分科会の下の部会として設置）
平成22年９月30日	・薬剤師国家試験出題基準について（平成22年薬食発0930第3号） 厚生労働省医薬食品局長通知発出
平成27年2月～ 平成28年1月	・**薬剤師国家試験制度改善検討部会**
平成27年9月	・薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針の見直しに関する中間とりまとめ公表
平成27年９月	・新薬剤師国家試験についての一部改正について（平成27年薬食発0930第17号）厚生労働省医薬食品局長通知発出　（相対基準導入）→　第101回薬剤師国家試験より適用
平成28年２月	・薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針公表
平成28年８月～10月	・**薬剤師国家試験出題基準改定部会**
平成28年11月	・新たな薬剤師国家試験出題基準公表　→　第106回薬剤師国家試験より適用
平成30年８月	・「新薬剤師国家試験について」の一部改正について（平成30年薬生発0831第2号）厚生労働省医薬食品局長通知発出（禁忌肢導入）→　第104回薬剤師国家試験より適用

薬剤師国家試験の概要①　時間割

時間割		
1日目	9：30－11：00	必須問題　（90問）
	12：30－15：00	薬学理論問題Ⅰ　（60問） （物理・化学・生物、衛生、法規・制度・倫理）
	15：50－17：45	薬学理論問題Ⅱ　（45問） （薬理、薬剤、病態・薬物治療）
2日目	9：30　－11：35	薬学実践問題Ⅰ　（50問） （物理・化学・生物、衛生）
	13：00－14：40	薬学実践問題Ⅱ　（40問） （薬理、薬剤）
	15：30－18：00	薬学実践問題Ⅲ　（60問） （病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務単問）

薬剤師国家試験の概要②　試験区分、試験問題数

試験区分:
◇ **必須問題**:薬剤師として特に必要不可欠な基本的資質を確認する問題
◇ **一般問題**:薬剤師が直面する一般的課題を解釈・解決するための資質を確認する問題
　薬学理論問題:薬学の理論に基づいて、一般的課題を解釈するための資質を確認する問題
　薬学実践問題:医療の実務において直面する一般的課題を解決するための基礎力、実践力及び総合力を確認する問題

科目	問題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	１５問	４５問	３０問	１５問　（複合問題）	６０問
衛生	１０問	３０問	２０問	１０問　（複合問題）	４０問
薬理	１５問	２５問	１５問	１０問　（複合問題）	４０問
薬剤	１５問	２５問	１５問	１０問　（複合問題）	４０問
病態・薬物治療	１５問	２５問	１５問	１０問　（複合問題）	４０問
法規・制度・倫理	１０問	２０問	１０問	１０問　（複合問題）	３０問
実務	１０問	８５問	―	２０問＋ ６５問　（複合問題）	９５問
出題数計	９０問	２５５問	１０５問	１５０問	３４５問

（注）薬学実践問題は、「実務」20問、及びそれぞれの科目と「実務」とを関連させた複合問題130問からなる。

薬剤師法施行規則の一部を改正する省令（平成22年1月20日厚生労働省令第8号）
薬剤師法施行規則の一部を改正する省令の公布について（平成22年1月20日薬食発0120第10号）、新薬剤師国家試験について（平成22年1月20日薬食発0120第12号）

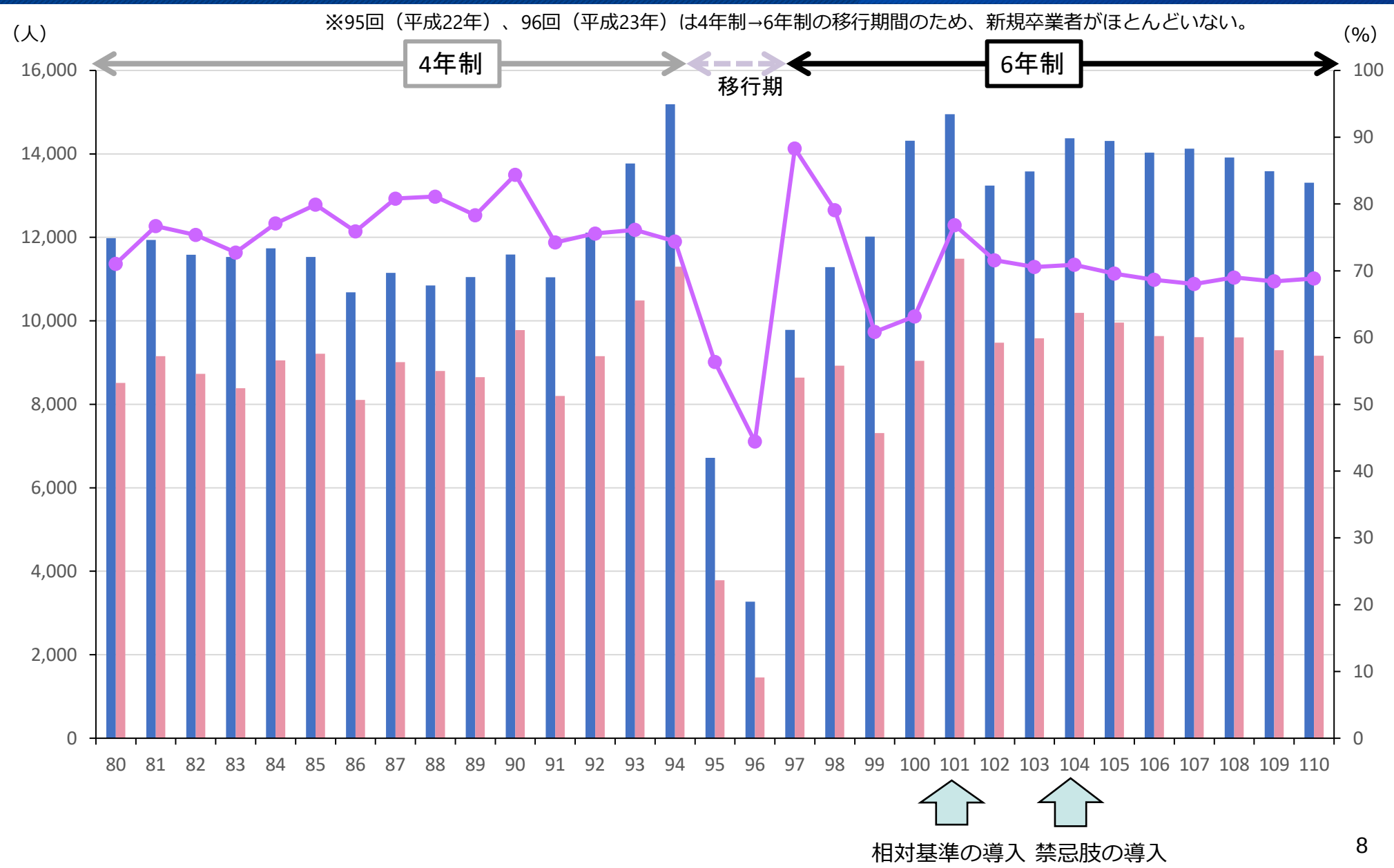
薬剤師国家試験の概要③　合格基準

○　平成28年に実施した第101回国家試験より、相対基準による合格基準を導入。
○　平成31年に実施した第104回国家試験より禁忌肢を導入。

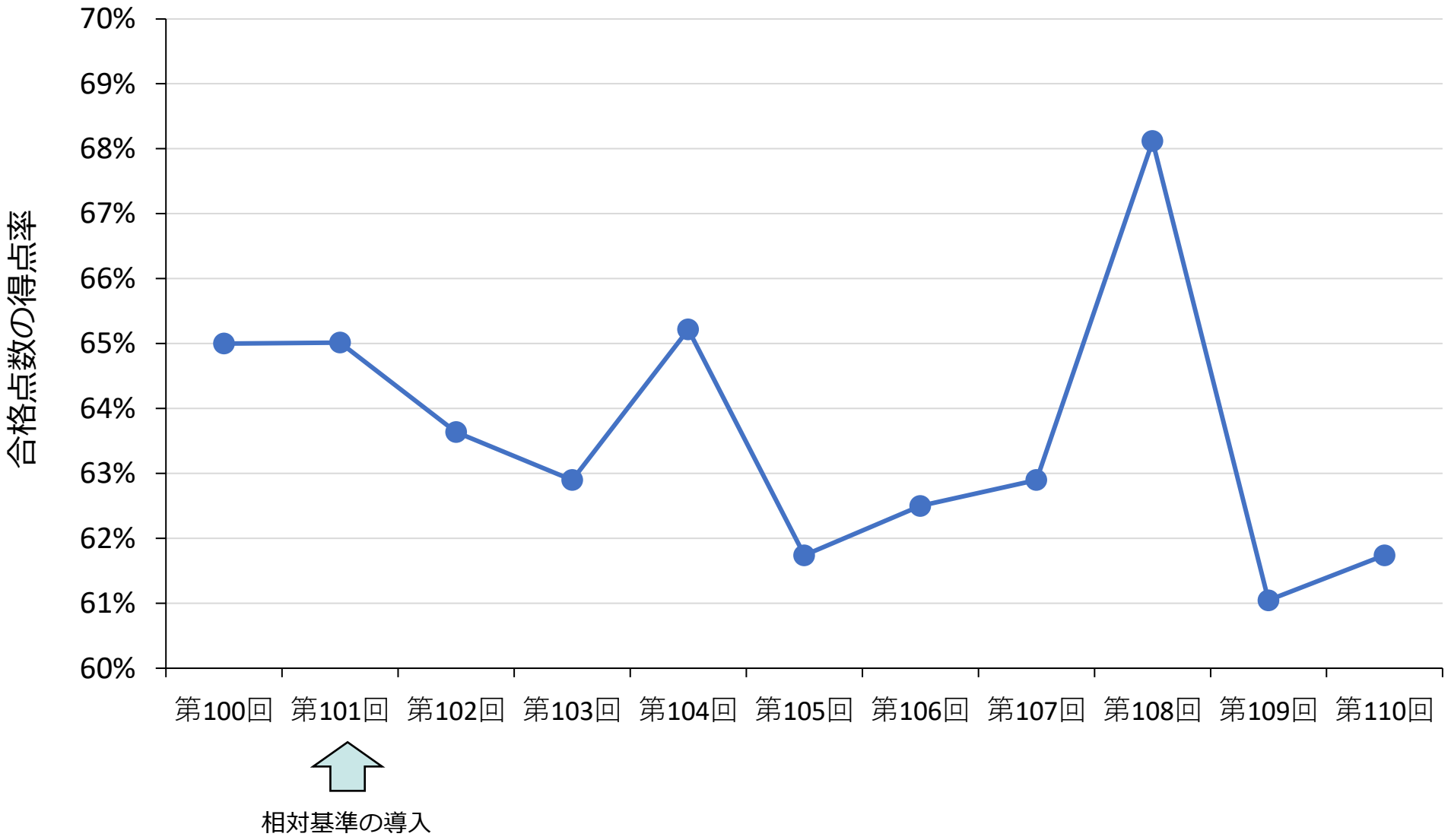
第104回～ （平成30年薬生発0831第2号）	第101～103回 （平成27年薬食発0930第17号）	旧
1～3　（略）	1～3　（略）	1～3　（略）
4　合格基準	4　合格基準	4　合格基準
以下のすべてを満たすことを合格基準とすること。なお、禁忌肢の選択状況を加味する。	以下のすべてを満たすことを合格基準とすること。	以下のすべてを満たすことを合格基準とすること。
①　問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた相対基準により設定した得点以上であること。	①　問題の難易を補正して得た総得点について、平均点と標準偏差を用いた相対基準により設定した得点以上であること。	①　全問題への配点の65%を基本とし、問題の難易を補正して得た実際の総得点以上であること。
		②　一般問題について、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の35%以上であること。
②　必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の30%以上であること。	②　必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の30%以上であること。	③　必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の50%以上であること。
5　（略）	5　（略）	5　（略）

「新薬剤師国家試験について」の一部改正について（平成27年薬食発0930第17号及び平成30年薬生発0831第2号）
新薬剤師国家試験について（平成22年1月20日薬食発0120第12号）

薬剤師国家試験の受験者数、合格者数、合格率推移



合格点数の得点率推移


70%
69%
68%
67%
66%
65%
64%
63%
62%
61%
60%
合格点数の得点率
第100回
第101回
第102回
第103回
第104回
第105回
第106回
第107回
第108回
第109回
第110回
相対基準の導入

薬剤師国家試験の試験回次別受験者数、合格者数、合格率（第80回～96回）【６年制移行前】

試験回次	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）		
			全体	新卒	その他
第80回（平成7年）	11,982	8,514	71.06	80.26	45.71
第81回（平成8年）	11,937	9,154	76.69	84.68	54.02
第82回（平成9年）	11,582	8,729	75.37	84.22	48.04
第83回（平成10年）	11,530	8,387	72.74	82.01	46.18
第84回（平成11年）	11,739	9,051	77.10	86.15	53.29
第85回（平成12年）	11,529	9,213	79.91	88.46	54.59
第86回（平成13年）	10,683	8,108	75.90	84.08	48.77
第87回（平成14年）	11,148	9,009	80.81	88.59	57.43
第88回（平成15年）	10,850	8,802	81.12	88.52	56.49
第89回（平成16年）	11,048	8,653	78.32	86.42	51.26
第90回（平成17年）	11,590	9,781	84.39	93.29	58.50

試験回次	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）		
			全体	新卒	その他
第91回（平成18年）	11,046	8,202	74.25	85.16	38.67
第92回（平成19年）	12,112	9,154	75.58	85.60	49.05
第93回（平成20年）	13,773	10,487	76.14	86.30	48.96
第94回（平成21年）	15,189	11,301	74.40	84.84	49.26
第95回（平成22年）	6,720	3,787	56.35	39.68	60.42
第96回（平成23年）	3,274	1,455	44.44	33.55	44.98

※第95回、96回は4年制→6年制の移行期間のため、新規卒業者がいない。

薬剤師国家試験の試験回次別受験者数、合格者数、合格率（第97回～）【６年制移行後】

試験回次	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）			
			全体	６年制新卒	６年制既卒	その他
第97回（平成24年）	9,785	8,641	88.31	95.33	ー	38.19
第98回（平成25年）	11,288	8,929	79.1	85.09	67.52	14.09
第99回（平成26年）	12,019	7,312	60.84	70.49	39.85	13.24
第100回（平成27年）	14,316	9,044	63.17	72.65	53.12	18.69
第101回（平成28年）	14,949	11,488	76.85	86.24	67.92	34.29
第102回（平成29年）	13,243	9,479	71.58	85.06	50.83	30.21
第103回（平成30年）	13,579	9,584	70.58	84.87	47	32.58
第104回（平成31年/令和元年）	14,376	10,194	70.91	85.5	43.07	33.72
第105回（令和2年）	14,311	9,958	69.58	84.78	42.67	36.1
第106回（令和3年）	14,031	9,634	68.66	85.55	41.29	36.14
第107回（令和4年）	14,124	9,607	68.02	85.24	40.75	39.26
第108回（令和5年）	13,915	9,602	69	84.86	44.05	36.65
第109回（令和6年）	13,585	9,296	68.43	84.36	42.42	43.87
第110回（令和7年）	13,310	9,164	68.85	84.96	43.94	48.10